

新福祉社会館建設に向け一歩前進

福祉社会館の建て替え問題

9月議会の補正予算に、新福祉社会館の基本設計委託予算と建設検討委員会委員謝礼の予算が計上され、賛成10、反対9、退席4により、可決成立しました。これで新福祉社会館の建設に向けての準備が始まります。

建設検討委員会設置へ

議論になったのは、既に行政決定している新福祉社会館の建設場所(第二庁舎北駐車場)の西隣のマンシヨンの耐震問題、さらに来年3月で閉館を予定している現在の福祉社会館の利用者への対応、検討委員会の委員の構成等でした。現福祉社会館の利用者への対応は個別相談にも応じていることになっています。検討委員会は6月議会での意見も取り入れての提案ですし、マンシヨンの耐震問題は、まずはマンシヨンの考えが具体的ににならないと対応のしようがないのが実態ですから、予算反対は事実上の建設反対を意味します。

早期建設を求める声

新福祉社会館の早期建設を求める陳情書も、利用する障害者団体から出て採択されましたが、利用する市民や団体にとって何より必要

なのは早期に新福祉社会館を建設することだと思います。

平成26年度決算の認定

厳しい財政状況が続き、単年度決算では赤字が続いていましたが、平成26年度は15億円の黒字となり、財政調整基金にも新たに6億円を、庁舎建設基金に2億円、福祉基金に1億円、環境基金に2億円の積み立てができました。収入率をアップさせるための努力や、景気の回復も良い結果をもたらせた要因です。

反対の意見に矛盾

賛成12、反対11で認定となりましたが、反対した野党から出た主な意見は、昨年秋季に第二庁舎の買い取りの提案が唐突だったことや、福祉社会館の建設を大学との共同研究で行おうとしたことの事務上のミス、武蔵小金井駅南口第二地区再開発、公民館東センターの委託化問題などがあげられました。しかし、第二庁舎の買い取りを撤回させたのは議会であり、私は議会の側に冷静さを欠いた対応があったことを指摘しました。この提案により具体的に蛇の目跡地への新庁舎建設に要する財源を

積み立てるといふ方策が提示されたものであり、蛇の目跡地への新庁舎建設方針に賛成しながら、具体策に反対する議会一部の声は矛盾するものと言わざるを得ません。さらに、リース庁舎解消を訴えている立場での反対も矛盾するものです。

結局、1年何も進まないまま、2億円余りの家賃は支払い続けたこととなります。

国では 女性活躍推進法が成立

社員が301人以上の企業は採用者や管理職者に占める女性の比率を情報公開するよう求めたものです。これによって女性が社会で活躍することを促すものです。

女性が社会で活躍するためには男性が家事を分担することも必要になります。イクメン(育児をする男性)も増えているようですが、男女の垣根が取れる時代になりつつあるようです。



<http://igarashi-kyoko.com> 五十嵐京子 検索

小金井で元気に!
小金井を元気に!

小金井で元気に! 小金井を元気に!

五十嵐京子

通信
第40号

2015年10月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町3-8-9-312

電話 042-384-9920